

I. 平成23年度フォローアップ結果のポイント

○計画期間：平成20年11月～平成26年3月（5年5月）

1. 概況

中心市街地においては、県道車尾大谷町線の供用開始や県道米子駅陰田線の暫定供用開始、平成23年3月にJR米子駅のバリアフリー化が完了したことにより、交通結節点としてのJR米子駅の機能・環境が改善された。

また、角盤町周辺～四日市町周辺～法勝寺町周辺を頂点とする“にぎわいトライアルゾーン”において、民間の積極的な取り組みを行政が支援しながら、概ね予定通りに事業が実施された結果、平成22年3月に3つのにぎわい拠点施設が同時オープン、平成22年9月には笑い通りに地域交流センター、平成23年8月には元町通りに元町交流センターが完成したほか、平成23年3月には、法勝寺町商店街において、アーケード撤去後のコミュニティ道路整備、下水道整備が完了する等、活性化の動きが加速している。

平成20年11月に認定を受けた米子市中心市街地活性化基本計画は3年あまりが経過したところであるが、基本計画に盛り込んだ67事業の進捗状況は、18事業が完了、ソフト事業など39事業が実施中、工事など6事業が整備中、4事業が未着手となっている。

基本計画の目標の成果指標のうち、歩行者通行量は、平成22年度までは目標値を超えて順調に推移していたが、平成23年度は、「元町通り商業環境整備事業」によるアーケード撤去や公会堂大ホールの閉鎖等の影響による一時的な現象と考えるが、全体として減少した。

下町観光ガイドについては、利用件数は基準年度より2割程度増加しPR効果は出てきているが、一件当たりの利用者が少人数化してきているため、利用者数は前年より減少している。しかし、もう一つのまちなか観光客を誘引する「加茂川・中海遊覧」は、一定の利用者数を確保している。

湊山公園の入場者数は、彫刻ロード案内板の設置等を行い、まち歩きを楽しめる環境づくりを進めたことにより、前年より増加している。

居住人口は、介護サービス付共同住宅の整備32戸、市外からの移住誘導策としてのまちなか居住支援事業、空き家情報の発信などに取り組んでいるが、依然減少傾向である。しかし、減少率は平成19～20年の約2%から平成22～23年は約1%に半減し、一定の成果は出ている。また、高齢者専用賃貸住宅（74戸）の入居が平成23年5月から開始されており、居住人口の増加が期待できる。

2. 目標達成の見通し

単位：人

目標	成果指標	基準値	目標値	最新値	見通し
人が集い賑わうまちをつくる	歩行者通行量 (自転車含む)	20,282 (H19)	21,319	18,311 (H23)	①
歴史や文化、自然に触れ合えるまちをつくる	下町観光ガイドの利用者数(年間)	1,380 (H19)	2,070	887 (H23)	②
	湊山公園の入場者数 (1日当り)	1,373 (H20)	1,510	1,341 (H23)	③
住みたくなるまちをつくる	居住人口	12,059 (H19)	12,159	11,342 (H23)	②

注 ① 取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

② 取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

③ 取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

④ 取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

⑤ 取組が実施されていないため、今回は評価対象外

3. 目標達成見通しの理由

①歩行者通行量（自転車含む）について

「法勝寺町商業環境整備事業（アーケード撤去、路面整備等）」の完了に伴う相乗効果が現れ、商店街全体で空き店舗が減少している状況に加え、引き続き“にぎわいトライアングルゾーン”において、「元町通り商業環境整備事業（路面整備等）」、商店街等と連携した複合商業施設開発の動きや、新たに「公会堂改修事業」、「図書館・美術館整備事業」等に取り掛かり、にぎわいの創出をしていくことから、目標達成は可能であると見込まれる。

②下町観光ガイドの利用者数について

「旧加茂川・寺町周辺地区街なみ環境整備事業」、「まちの案内看板設置事業」等に取り組んでいるものの、利用者数は横ばい状態であり、目標達成可能とは見込まれないため、今後対策を講じる必要がある。

③湊山公園の入場者数

主要な事業である「史跡米子城跡整備事業」は着工が遅れているが、「彫刻ロード案内板設置事業」、「中心市街地情報発信事業」等を実施していることにより、入場者数は増加傾向であることから、目標達成可能と見込まれるため、引き続き最大限努力していく。

④居住人口について

「介護サービス付共同住宅の建設」、「空き家情報の発信」等を実施しており、人口の減少数（H22年度 190人減 → H23年度 112人減）は緩やかになり一定の成果は認められるが、目標達成可能とは見込まれないため、今後対策を講じる必要がある。

4. 前回フォローアップと見通しが変わった場合の理由

該当なし

5. 今後の対策

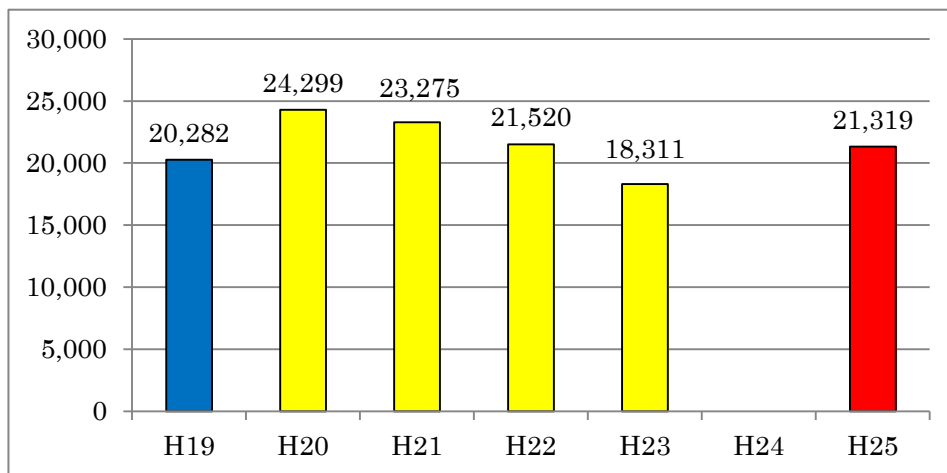
平成 24 年 11 月に「国際マンガサミット鳥取大会」が、米子市を主会場として開催される。これを契機に、県は「まんが王国とっとり」を建国し、マンガを切り口として、国内外からの観光客誘致や、県の認知度向上、イメージアップを図る各種事業を予定しており、この動きと連携した民間の新たな取り組みが“にぎわいトライアングルゾーン”内で進められている。また、公会堂改修事業、図書館・美術館整備事業など都市基盤の整備を実施することで、相乗効果による、まちなかの回遊性の向上や新たなにぎわいを創出する。

今後も官民連携して、基本計画に掲げた事業を着実に実施するとともに、目標が達成できるよう事業成果を検証のうえ課題を整理し、必要に応じて事業内容の見直しや新規事業の検討などの改善策を講じていく。

Ⅱ. 目標「人が集い賑わうまちをつくる」

「歩行者通行量（自転車含む）」※目標設定の考え方基本計画 P57 を参照

1. 調査結果の推移



年	(人)
H19	20,282 (基準年値)
H20	24,299
H21	23,275
H22	21,520
H23	18,311
H24	
H25	21,319 (目標値)

※調査方法：11月の平日、休日の2日間実施。調査地点19地点において、調査時間を10時～16時30分までとし、毎時30分間計測。平日、休日の2日間の合計を集計し、把握。

※調査月：11月

※調査主体：米子市

※調査対象：自転車を含む中学生以上の歩行者

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 四日市町大型店舗再活用事業（株SKY）

事業完了時期	【済】平成21年度
事業概要	空き店舗となっている旧書店ビルを商業活性化の拠点として再生し、新しい商業者の集積と新たな客層を呼び込むための施設整備 ・【1階】1店舗、【2階】2店舗、【3階】2店舗、事務所、【4階】多目的スペースを設置
事業効果又は進捗状況	若手商業者の出店が続いている四日市エリアの「街の元気ビル」として、若者を中心としたにぎわいが創出されている。

② 法勝寺町商業環境整備事業（株法勝寺町）

事業完了時期	【済】平成22年度
事業概要	老朽化したアーケードを撤去し、下水道整備の後に、花や緑の演出、石像、ベンチ、フットライト、街路灯などを備えるコミュニティ道路(L=130m)の整備
事業効果又は進捗状況	アーケードを撤去し、陽のあたる新しいまちになったことから、空き店舗の活用、新規出店等の動きが出てきている。

③ 三連蔵ショップ&ギャラリー事業（株法勝寺町）

事業完了時期	【済】平成21年度
事業概要	よりみち通り沿いの築120年の蔵を改修し、物販、ギャラリー等を設置するテナントミックス事業 ・3つに仕切られた蔵を改修し、【1階】3店舗、【2階】2店舗、多目的スペースを設置
事業効果又は進捗状況	こだわりの飲食店や日変り食堂等が人気を呼び、まちなかの回遊性の向上に寄与している。

④ 鳥取大学医学部まちなかサテライトキャンパス事業（鳥取大学医学部、米子市、中心市街地活性化協議会）

事業完了時期	【未】平成25年度
事業概要	鳥取大学医学部のサテライトキャンパスをにぎわいトライアングルゾーンに設置することで、学生をまちなかに誘引し、中心市街地のにぎわい創出を図る。
事業効果又は進捗状況	実施手法が定まらず着手が遅れている。

⑤ にぎわいのある商店街づくり事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成 17 年度～		
事業概要	空き店舗へ出店する事業者到店舗改修費等の助成を行い、商店街の魅力や集客力を高めるとともに、空き店舗の解消を図る。		
事業効果又は進捗状況	・新規出店見込み数と実績数		
	エリア名	見込み (H20～H25 年度)	実績 (H20～H23 年度)
	四日市町周辺	8 店舗	1 0 店舗
	法勝寺町・元町周辺	6 店舗	1 3 店舗
	角盤町周辺	2 店舗	2 店舗
	その他の地区	4 店舗	1 2 店舗
	合計	2 0 店舗	3 7 店舗

⑥ 図書館・美術館整備事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成 25 年度
事業概要	老朽化・狭あい化した図書館、美術館の整備拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館増築（RC 2F 657 m²）、多目的交流スペースの整備（延床面積 299 m²） ・美術館増築・改修、図書館・美術館バリアフリー整備、旧二中校舎を撤去した後、創作広場を整備
事業効果又は進捗状況	平成 23 年度基本設計・実施設計完了、平成 24 年 5 月工事着工、平成 25 年 8 月完成予定

⑦ 地域情報発信拠点施設運営事業（喜八プロジェクト）（NPO法人喜八プロジェクト等）

事業完了時期	【済】平成 21 年度
事業概要	旧銀行の空店舗を活用してコミュニティ FM、レストラン、物販スペース、ミュージアムスペース等で構成する複合商業施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ FM、カフェ、ショップ 4 店舗、ミュージアムスペース、イベントスペースの設置
事業効果又は進捗状況	コミュニティ FM の開局、イベントスペースを活用した短編映画イベントの定期開催、近隣のライブハウスとの相乗効果などにより、若者を中心としたにぎわいが広がってきている。

⑧ 【追加】公会堂改修事業（米子市）

事業完了時期	【未】平成 25 年度
事業概要	中心市街地のランドマークとして市民に親しまれてきた公会堂を、今後も永く市民活動の拠点となるよう整備するとともに、にぎわいを生み出す拠点とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・公会堂ホール棟及び楽屋棟の耐震改修 ・全館の劣化改修、内外装改修及び設備改修等
事業効果又は進捗状況	平成 23 年度基本設計、平成 24 年度実施設計・工事着工予定

⑨ 【追加】元町通り商業環境整備事業（元町通り商店街振興組合）

事業完了時期	【未】平成 24 年度
事業概要	下水道、コミュニティ道路（L=254.6m）、パティオ広場の整備
事業効果又は進捗状況	老朽化したアーケードは、平成 23 年度に撤去が完了

⑩ 【追加】鳥取環境大学西部サテライトキャンパス連携活用事業（鳥取環境大学、米子市、中心市街地活性化協議会）

事業完了時期	【実施中】平成 23 年度
事業概要	にぎわいトライアルゾーン内に鳥取環境大学のサテライトキャンパスを設置し、周辺施設との連携により、中心市街地のにぎわいを創出する事業
事業効果又は進捗状況	平成 24 年 4 月サテライトキャンパス開設予定

⑪ 【追加】 アルファビル再活用事業（㈱アルファオフィス）

事業完了時期	【未】 平成 24 年度
事業概要	空きビルを利用し、コンテンツのクリエイティブ産業化の促進を図る商業拠点施設を整備する事業
事業効果又は進捗状況	平成 24 年 2 月に組織を法人化し、事業着手に向けて準備中

⑫ 【追加】 中心市街地の情報発信拠点施設整備事業（中海テレビ放送センタービル）（中海テレビ放送）

事業完了時期	【実施中】 平成 23 年度
事業概要	中海テレビ放送センタービル内に角盤スタジオを設置し、市民参加型メディアとして公開収録や生放送で情報発信する事業
事業効果又は進捗状況	情報発信の放送にとどまらず、テゴネット（鳥取県西部広域交流ネットワーク）と連携し「地域ふれあいフェスタ」をビル前庭で開催している。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

基本計画に盛り込んだ事業は、ほぼ計画通りに実施されている。

“にぎわいトライアングルゾーン”内で、平成22年3月に3つのにぎわい拠点施設が一斉にオープンしたことや、「法勝寺町商業環境整備事業」の完了によって、商店街全体の空き店舗率の減少（前年度比 1.4%の減）、新規出店の増加（前年度比 12店舗の増）に結び付いていると考える。

また近年、中心市街地活性化基本計画の動きと連動し、米子映画宴、米子映画事変等のマンガ・映画等のコンテンツによる、新たな賑わいが創出されている。

さらに、平成24年11月には、中心市街地内の米子コンベンションセンターをメイン会場として、「第13回国際マンガサミット鳥取大会」が開催され、63万人の集客が見込まれている。

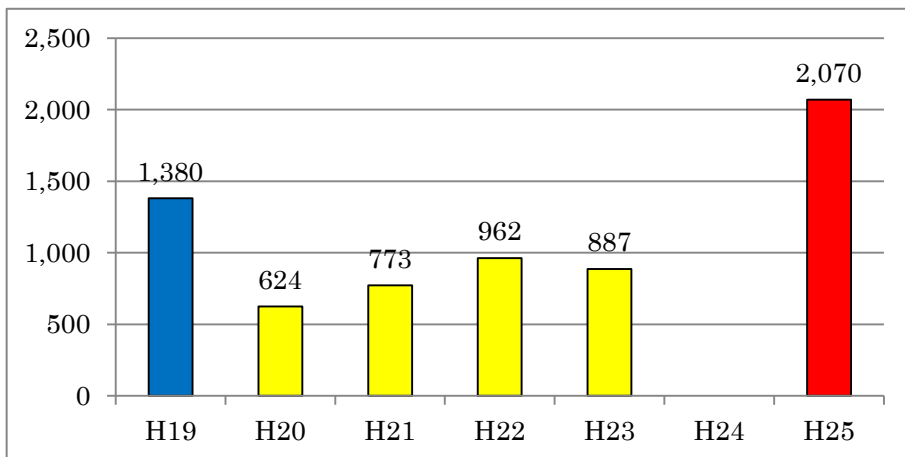
これからも、行政においては図書館・美術館整備事業や公会堂改修事業、民間においては元町通り環境整備事業やアルファ再活用事業を予定しており、官民の事業の相乗効果によって、さらなる増加が見込めることから、目標達成可能であると考えます。

今後の対策としては、東西軸上にある米子港の再生を図る事業の検討等を計画しており、小さな事業を実施することによって、個々の事業が連鎖し、にぎわいの創出と回遊性の向上を図っていく。

Ⅱ. 「歴史や文化、自然に触れ合えるまちをつくる」

「下町観光ガイドの利用者数」※目標設定の考え方基本計画 P65～66 参照

1. 調査結果の推移



年	(人)
H19	1,380 (基準年値)
H20	624
H21	773
H22	962
H23	887
H24	
H25	
H25	2,070 (目標値)

※調査方法：毎年1月に米子市観光協会がとりまとめている利用者数を集計し、把握。

※調査月：毎年1月～12月

※調査主体：米子市

※調査対象：下町観光ガイド利用者

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 旧加茂川・寺町周辺地区街なみ環境整備事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成25年度
事業概要	歴史的景観の保全・継承、住環境の向上を図る。 まちかど広場造成 1,611㎡、道路美装整備 423m、遊歩道整備 464m、案内施設整備 4基、
事業効果又は進捗状況	建築物の修景助成 39件

② 史跡米子城跡整備事業（米子市）

事業完了時期	【未】平成34年度
事業概要	国史跡「米子城跡」周辺の民有地を公有地化するとともに、米子城跡の史跡を整備する。 ・登山道、案内板の整備 ・内堀遺構等史跡の保存、復元整備
事業効果又は進捗状況	平成20年度に史跡米子城跡整備計画基本構想を策定した。主要部分である湊山球場敷地の利活用の方向性が定まらず休止状態であったが、平成23年6月に史跡公園整備の方針が示され、今後、文化庁等との協議を経て整備方針を決定し、事業着手へと進めていく。

③ 下町観光ガイド（市民ボランティア）

事業完了時期	【実施中】平成13年度～
事業概要	地元ボランティアガイドによる下町の観光案内、モデルコースは4コース（平成22年8月から1コースが休止となり、現在は3コース）
事業効果又は進捗状況	ガイド登録者 18名、平成23年中の利用者数 887人 ・H19年（現況値）1,380人 → ・H22年962人 → ・H23年887人

④ 加茂川・中海遊覧の運航（笑い通り商店街振興組合）

事業完了時期	【実施中】平成14年度～
事業概要	旧加茂川から中海、新加茂川を巡る小型遊覧船の運航 ・1日2便、往復約40分、定員10人
事業効果又は進捗状況	平成14年から運航を始めて、平成21年10月には累計乗客数1万人を突破した。

⑤ 【追加】地域の魅力再発見事業（米子市）

事業完了時期	【未】平成 24 年度
事業概要	中心市街地のあまり知られていない名所などを市民が実際に散策、探訪、体験する事業
事業効果又は進捗状況	まちなかに眠っている魅力を再認識、再発見することによって、参加者がまちなかに興味を持つとともに、口コミによる P.R を図る。

⑥ 【追加】中心市街地活性化情報発信事業（米子市）

事業完了時期	【未】平成 25 年度
事業概要	地元ブロガーを活用して、季節ごとにまちなかの魅力の情報発信を行うとともに、市ホームページに中心市街地活性化情報発信コーナーを設け、まちなかの賑わいの様子やイベント情報など様々な情報発信を行っていく。
事業効果又は進捗状況	市民がまちなかの魅力を知り、よき理解者となり、自らがまちなか情報の発信源となって、口コミによる PR を行っていけるような環境を整備することによって、地域内外からの来訪者の集客を図る。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

「旧加茂川・寺町周辺地区街なみ環境整備事業」による下町の景観保全やまちかど広場整備の促進、加茂川・中海遊覧の運航、彫刻ロードなどの案内板の整備など、まち歩きを楽しむことのできる環境の整備を進めて、「下町観光ガイドの利用者数」の増加を図っている。

また、歩道のバリアフリー化の推進、まちの案内看板の設置などに取り組み、まちなかへの来訪者が快適でスムーズに移動できる環境の整備を進めている。

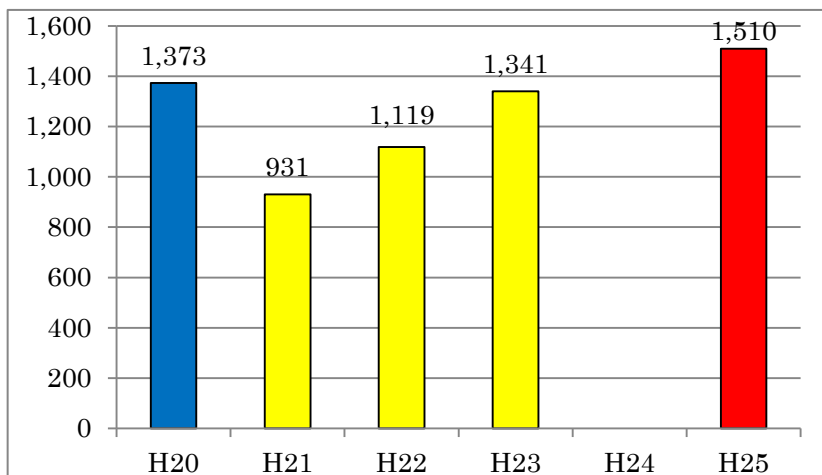
利用件数は増加傾向であるが、ツアーの規模が少人数化し利用者の総数は伸びていないため、目標達成可能とは見込まれない状況となっている。

今後の対策としては、新たな下町観光ガイドコースや短時間で回れるコースの開発、さらなる情報発信力の強化、まちづくり団体等との連携を図り、まちなか来訪者の増加に結び付けていく。

Ⅱ. 「歴史や文化、自然に触れ合えるまちをつくる」

「湊山公園の入場者数」※目標設定の考え方基本計画 P65～66 参照

1. 調査結果の推移



年	(人)
H20	1,373 (基準年値)
H21	931
H22	1,119
H23	1,341
H24	
H25	1,510 (目標値)

※調査方法：6月の平日、休日の2日間実施。調査地点7地点において、調査時間を6時から19時30分までとし、毎時30分間計測。指標としては、休日の入場者数を集計し、把握。

※調査月：6月

※調査主体：米子市

※調査対象：自動車に乗車する人を含めた全ての入場者数

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ① 【未】 史跡米子城跡整備事業（米子市）【再掲 P6 参照】
- ② 【実施中】 下町観光ガイド（市民ボランティア）【再掲 P6 参照】
- ② 【追加】 地域の魅力再発見事業（米子市）【再掲 P7 参照】
- ③ 【追加】 中心市街地活性化情報発信事業（米子市）【再掲 P7 参照】
- ④ 【追加】 もっと知りたい米子城事業（米子市）

事業完了時期	【未】 平成 25 年度
事業概要	米子城周辺の歴史について、米子城の探訪、講座・講演会等を開催する。
事業効果又は進捗状況	米子城跡やその界隈の魅力を再認識することにより、来園者の増加が見込める。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

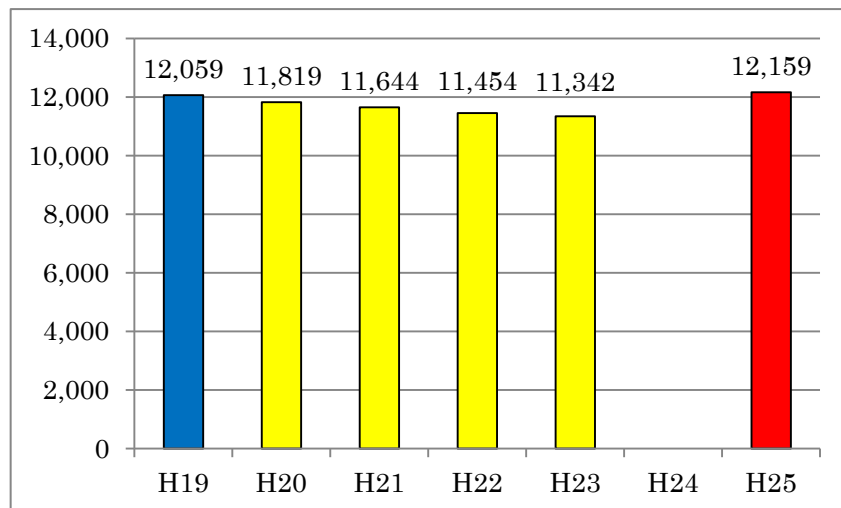
主要な事業である「史跡米子城跡整備事業」の着工が遅れているが、歩道のバリアフリー化の推進、彫刻ロードなどの案内板の整備など、まちなかへの来訪者が快適でスムーズに移動できる環境の整備を進めており、「湊山公園の入場者数」は増加してきている。また、平成 24 年度からは、米子城の探訪、講座・講演会等を実施することにより、目標達成は可能と見込まれるため、事業の追加等を行い引き続き最大限努力していく。

今後の対策としては、地域の魅力を体験できる取り組みや、イベント等の情報発信の強化を図る。

II. 「住みたくなるまちをつくる」

「居住人口」※目標設定の考え方基本計画 P71 参照

1. 調査結果の推移



年	(人)
H19	12,059 (基準年値)
H20	11,819
H21	11,644
H22	11,454
H23	11,342
H24	
H25	
H25	12,159 (目標値)

※調査方法：住民基本台帳から集計。毎年4月1日現在における中心市街地区域の人口を集計し、把握。

※調査月：平成23年4月

※調査主体：米子市

※調査対象：中心市街地区域内

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 民間マンション建設（株穴吹工務店）

事業完了時期	【済】平成20年度
事業概要	民間事業者による高層集合住宅建設（1棟）
事業効果又は進捗状況	平成21年3月1棟65戸が完成、入居率は9割を越える。

② 介護サービス付共同住宅事業（株ミシマ、株あるまち）

事業完了時期	【実施中】平成25年度
事業概要	民間事業者による介護サービス付の共同住宅の開発と運営
事業効果又は進捗状況	平成22年1月「にしくらの家」（5戸）、平成22年3月「ココ灘町」（27戸）が完成 「住み慣れた地域で最後まで暮らせるまちづくり」の実現のため、郊外施設への入居を望まない方の住居を確保した。

③ まちなかすまいるデータバンク（米子市、NPO法人まちなかこもんず等）

事業完了時期	【実施中】平成25年度
事業概要	まちなか居住に適した中古住宅物件情報の収集、管理、発信
事業効果又は進捗状況	市場に出ていない空家物件を掘り起こし、既存の不動産情報と一元的な情報データベースを構築し、インターネットで情報発信することによって、まちなかの住宅物件の供給とニーズへの対応を強化し、居住人口の増加を図る。 361件の空家を把握し、所有者等の了解が得られた物件について順次、情報発信を行い、3軒に入居があった。

④ まちなか居住支援事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成25年度
事業概要	中心市街地に住宅を取得して市外から移住する世帯に対し、建物の固定資産税相当額を一定期間助成する制度
事業効果又は進捗状況	平成22年4月から実施、平成23年度7件

⑤ やらいや米子・平成ルネッサンス事業（こうやまち壺号館）（株まちなか米子壺号館）

事業完了時期	【済】平成 22 年度
事業概要	低未利用地を活用した民間事業者による高齢者専用賃貸住宅を核とした複合施設の建設 ・RC 造 6 階建て、延床面積 3,232 m ² 、高齢者専用賃貸住宅 74 戸、小規模多機能型居宅介護支援センター等を併設
事業効果又は進捗状況	平成 23 年 5 月から入居開始、平成 24 年度当初には入居率 100%に達する見込み。

⑥ 【追加】いきいきケアホーム灘町事業（(有)ラポール・ケア米子）

事業完了時期	【実施中】平成 23 年度
事業概要	民間事業者によるサービス付き高齢者向け住宅を核とした複合施設の建設 ・鉄骨造 3 階建て、延床面積 2,486 m ² 、サービス付き高齢者向け住宅 65 戸、訪問介護・看護ステーション等を併設
事業効果又は進捗状況	平成 24 年度から入居開始予定

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地において、民間のマンション建設、介護サービス付共同住宅や高齢者専用賃貸住宅の建設が行なわれており、居住人口が増加している地区もあるが、目標達成可能とは見込まれない状況となっている。

今後の対策としては、住むための受け皿づくりとして、住む場所として魅力を高める下水道整備等のインフラ整備や民間のサービス付き高齢者向け住宅等の建設を促進するとともに、移住定住の促進を図る「まちなか居住支援事業」制度の PR や、「まちなかすまいるデータバンク」事業による空家情報の発信等を強化する。